

市長とのかがやきライフトーク

【ふるさと大垣案内の会】

と き / 平成 29 年 7 月 4 日 (火) 10:15~11:15

と ころ / 大垣市総合福祉会館 3 階・会議室

参加者 / 11 人

【ふるさと大垣案内の会代表】

『ふるさと大垣案内の会』は、平成 11 年に発足し、観光客からの「大垣っていいね。案内してもらってよかった」という言葉を励みにがんばっている団体です。



【ふるさと大垣案内の会会員】

今まではボランティアガイドセンターがあったので、そこで観光客に声がけできましたが、現在は『奥の細道むすびの地記念館』のスタッフルーム駐在となり、お客様との接点がなくモチベーションが下がってしまいます。

大垣駅の案内所に指定管理者制度を導入し、当会に任せてもらえれば、多くのお客様に声がけできると思います。

【ふるさと大垣案内の会会員】

市内の観光案内板の表示が不正確で混乱します。大きさもバラバラのため、それぞれ統一してほしいです。

【ふるさと大垣案内の会会員】

パンフレットを発行したそれぞれの課に取りに行かなければならないため、縦割りでなく秘書広報課などで調整して一括発行してほしいです。

【ふるさと大垣案内の会会員】

観光で収入を得ることを考えてほしいです。近隣の町と連携し、広域的に観光名所をいくつか巡り食事してもらおうなど、地域の資源にスポットを当てて戦略的に考えてはどうでしょうか。

【ふるさと大垣案内の会会員】

輪中をユネスコ文化遺産として取り上げてはどうでしょうか。また、大垣市城下町の観光マップ（旧市街地）だけでなく、広域パンフレットも作成することによって、案内の幅も広がると思います。

【ふるさと大垣案内の会会員】

郷土館をミニ大垣まつり会館として、掛芸など、大垣まつり以外の時期でも観光案内できるようにしてほしいです。

【ふるさと大垣案内の会会員】

水門川沿いの遊歩道にある樹木の名札が無くなっているのので、つけてほしいです。

【ふるさと大垣案内の会会員】

若者の定住策として案内の会と連携し、高校や大学での大垣市寄付講座を導入してはどうでしょうか。

【ふるさと大垣案内の会会員】

現在、小中学校を対象としたふるさと学習がありますが、高校・大学生を対象に座学・実習をし、観光資源を活用したまちづくりをテーマに、若者の視点で話し合ってもらうワークショップを開催してはどうでしょうか。



【ふるさと大垣案内の会会員】

子育て日本一を目指す大垣では、働く母親にやさしい環境があることを伝えるべきだと思います。定住の条件は子育ての環境と働く環境が大切です。

【ふるさと大垣案内の会会員】

墨俣さくらまつりの駐車場が有料になり、苦情を受けます。

【市長】

駐車場の有料化ですが、受益者負担は理にかなったことであると思います。

バスの観光客が案内のメインでしょうから、駅前案内所での街頭案内ニーズは少ないのではないですか。

【ふるさと大垣案内の会会員】

観光客はバスだけではなくありません。JRでみえる個人やグループの方も、大垣を知りたいと思って来ています。リピーターが増える案内をするべきだと思います。

【市長】

個人を対象に案内するのは大変ではありませんか。

【ふるさと大垣案内の会会員】

団体は時間制限などがあり、伝えきれないことがあります。個人の方々への案内の方がやりがいを感じることもあります。

【市長】

広域観光について、大垣には京都や白川郷などへ観光に行く人が宿泊していきます。また関ヶ原などへ行った人は大垣に宿泊するなど、連携はできています。ただ大垣に観光で来る人は日帰りだったりするので、課題はあります。

【ふるさと大垣案内の会会員】

団体客が来ても食事やお土産屋がまとまっていないので、案内しにくいということがあります。市役所の新庁舎の食堂を開放してはどうでしょうか。



【市長】

行政がやる食堂は、全国的に成功しないことが多いです。

若者定住についてですが、教育は時代によって変わります。寄付講座で地元のいいところを教えていき、若者の関心を高めていくことは大切です。

今後も、ふるさと大垣案内の会の皆さんにはお世話になりますが、よろしくお願いします。